

二〇〇六年度大会の概況

日本思想史学会二〇〇六年度大会は、十月二十一日（土）・二十二日（日）の両日、岩手大学（農業教育資料館ほか）を会場として開催された。

第一日は、「近代の漢学」をテーマにシンポジウムが行われた。

趣旨説明  
報 告  
（愛知県立大学）樋口 浩造

青木正児の支那学へ  
（東京大学）齋藤 希史

近代の漢学―講壇と民間と―  
（東洋大学）吉田 公平

司 会  
（筑波大学）中野目 徹

（岩手大学）中村 安宏

（恵泉女学園大学）澤井 啓一

コメント  
（明治大学）大久保健晴

シンポジウム終了後、総会が行われ、評議員会より二〇〇五年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて二〇〇六年度事業計画および予算案が提出

され、それぞれ評議員会案通り決定された。  
引き続き、岩手大学中央学生食堂ホールにて懇親会が開催された。

第二日の研究発表、パネルセッションの発表者と発表題目は以下のとおりである（副題省略）。

〈第一会場〉

研究発表

1、大道寺友山の士道論（東北大学大学院）中嶋 英介

2、浅見綱斎の神道論（早稲田大学大学院）清水 則夫

3、赤穂義士をめぐる偶然と必然 諸田 清

4、往来物作者中村三近子と「善念」の思想系譜  
（同志社大学）和田 充弘

5、〈調べ〉の受肉化と〈今〉の現前化  
（立命館大学大学院）岩根 卓史

6、平田篤胤の『仙境異聞』と紀州幽界一件  
（国立歴史民俗博物館）中川 和明

- 7、後期水戸学研究 大川 真  
 8、脱藩の思想史 (大阪市立大学) 高坂 史朗

〈第二会場〉

研究発表

- 1、円珍の密教思想の一考察 (学習院大学大学院) ヴェルノ、ヘリ・リース  
 2、藤原忠実の神祇思想 (皇學館大学大学院) 山口 剛史

- 3、中世における諏訪明神の実相 (東北大学大学院) 鈴木 三恵

- 4、〈協同〉性の探求 (同志社大学大学院) 織田 健志  
 5、柳田國男の「日本の学問」 塩野 雅代

- 6、「風景地」の思想 (南山大学) 松田 京子  
 7、昭和十年代の福田恆存 (麗澤大学) 川久保 剛  
 8、戦争体験と戦後思想 (日本学術振興会特別研究員) 平野 敬和

〈第三会場〉

研究発表

- 1、「郡県」の商業と「自愛」の秩序 (東京大学大学院) 河野 有理  
 2、「宗教」と「理学」

- (日本学術振興会特別研究員) 星野 靖二  
 3、清沢満之の靈魂論 (親鸞仏教センター) 山本 伸裕  
 4、高山樗牛と雑誌『明星』グループ (筑波大学大学院) 長尾 宗典

- 5、明治十四年、原敬の「東北」周遊 (東北大学大学院) 鈴木 啓孝

- 6、沖繩から見た辛亥革命と大正政変 (東京大学大学院) 與那覇 潤

パネルセッション：靈魂觀の行方―遺骨と魂魄をめぐって―

- 司 会 (岩手大学) 藪 敏裕  
 コメンテーター (龍谷大学) 脇田 健一  
 遺骨をめぐる靈魂觀 (岩手大学) 中村 一基  
 近世における靈魂觀をめぐって (岩手大学) 中村 安宏